



第11回全国障害者スポーツ大会
2011年10月22日(土)~10月24日(月)
おいでませ! 山口大会
 君の一生けんめいに金いたい

21世紀の「21」をモチーフに、障害者の「走る」「飛ぶ」「泳ぐ」姿をデザイン。4つのカラーは、「北海道、本州、四国、九州」を表し、全国の障害者スポーツの交流の場として、人と人との交流・地域との連携を深める「全国障害者スポーツ大会」の未来への飛躍をシンボライズ。
 ※平成12年財団法人
 日本障害者スポーツ協会制定



**上位入賞と自己記録更新に挑戦した、23名の石川県代表選手！
 合計17個のメダル[金5、銀1、銅11]を獲得！！**

石川県選手団(選手23名と役員17名の計40名)は、10月20日(木)県庁前での結団壮行式後、バスで一路山口県へ向かった。

この大会は、全国47都道府県、19政令指定都市の66選手団・5404人が参加する国内最大級の障害者スポーツの祭典で、「第66回国民体育大会・おいでませ山口国体」(10月1日~10月11日)から引き継がれた炬火のもと、24日までの3日間、山口や下関など県内8市14会場でオープン競技を含む14競技があり、各地で熱戦が繰り広げられた。

開・閉会式は、維新百年記念公園陸上競技場(山口市)で行われ、エンディングイベントでは地元出身のミュージシャンの軽快な音楽に、選手たちが次々にステージへ駆寄り、肩を組んだり拳を突き上げたりとの盛り。興奮の中にも、お互いの健闘と再会を誓い合う、感動の閉会式となった。

選手一人ひとりの自己記録更新とメダル獲得がかなえられるように、役員も昼夜奮闘！

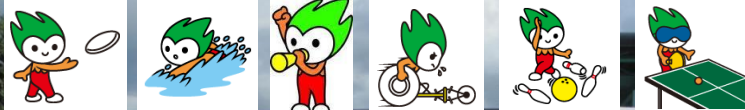
現地では、「チーム石川」に心強い地元スタッフが加わり、全日程を共に戦った。

閉会式後の反省会では「チーム石川」として大会を振り返る一人ひとりの言葉に、全員が笑い、涙した。

勝取ったメダルは[金5、銀1、銅11]計17個。さらに、記録や写真だけでは表せない感動と興奮を味わうことができた。「みんな、ありがとう。また会いましょう。新たな目標に向かって・・・！」

最後に、応援して下さいました皆さん、ありがとうございました。 新生「チーム石川」、岐阜大会に続く！

フライングディスク(山口市)



ボウリング(下関市)



水泳(山口市)

卓球・SST(山口市)

金メダル獲得者	陸上	岡山学(羽咋市)	ジャベリックスロー	(19m03)
			ソフトボール投げ	(28m45)
	水泳	北村 芳正(野々市町)	50m自由形	(34秒53)
			25mバタフライ	(15秒85)
	水泳	宮川 哲(金沢市)	25m背泳ぎ	(32秒62)



陸上(山口市)



平成24年度第12回大会は、岐阜県で開催されます。
 2012年10月13日(土)~10月15日(月)
 マスコットは、ミナモです。次回の大会目指して、がんばろう！！

